

## 申4号 2024年度年末手当に関する申し入れ



# 第2回交渉以降も多くの組合員から怒りの声が寄せられています!!

もの凄く人がいる。インバウンドで海外の人も多い。何とか対応しているが、人の多さが駅にしていると目に見えてわかる。対応も含めて疲れている。モチベーションは上がらない

分会としてメッセージ行動を取り組んでいる。昨年までは「頑張っ欲しい、満額欲しい」というメッセージだったが、今回は「生活が苦しい、ローンの支払いが大変だ」など、切実な声がびっしりと記されたメッセージが多くある。

客観的という言葉がすごく引っかかる。会社の人自分たちの業績を客観的に見てどうするの？主体的じゃない。ただの無責任。この回答については怒っている。

コロナ前の2019年と比較しての97%を出さない理由にするならば、それは会社の主観ではないか？客観的に見れていないのは会社だ！

社友会がQRコードで意見集約をしているが、交渉権が無い社友会が集めても意味がないのでは？これを社員の声として上げられては、また満足している声が多いと言われる。また社友会アンケートは、社員コード入力等があれば個人が特定され不満など出せないのでは？

もっと頑張れとかコストダウンしろ、社員に対して主体的に考えて行動しろ、自ら考えて行動しろと主体的に物事を突き付けるくせに、いざこういう数字を見るときに客観的と言われても納得できない。客観的ってどういう立場から言うのか？

## 第3回交渉日程決定!!

# 11月12日(火)



## 業績の大幅回復は職場の努力の結果!! 職場の声を受け止め、真摯な回答を求める!